

広報

SHOBARA the public information magazine

しょくばら

美しく輝く 里山共生都市

1

2026/January
No.250



新年あけましておめでとうございます！

新春号の表紙は、地域ケア推進会議地域部会ワーキング委員と高齢者福祉課が協力して作成した「あつまるカルタ」。

人とのつながりや体を動かすことの大切さなどを盛り込んだ読み札と、温かな絵柄が特徴的な取り組みで構成されています。

貸し出しも行っていますので、希望する場合は高齢者福祉課（☎ 0824-73-1165）へご連絡ください。

年頭のあいさつ



本年度、庄原市の将来像を描き、“まちづくり”的羅針盤となる「第3期庄原市長期総合計画」の策定を進めています。

本計画に基づき、本市がこれまで育んできた歴史や文化、豊富な資源を基盤とした、新しい価値を生み出し、庄原ならではと言える魅力を創出するための種を撒き、着実に実行してまいります。

そして、市民の皆様の不安が安心に変わり、将来への希望が生まれ、「ずっと住み続けたい、いつか帰ってきたい」と心から思える「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」いざこつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、本市行政に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年4月の市長選挙において、市政を担わせていただきこととなりました。責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いで日々の職務にあたっております。

新年明けましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え、市議会を代表し、市民の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃より市議会の活動に対しまして、格段のご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年4月の選挙を経て、新体制の第6期庄原市議会がスタートしておりますが、対話を大切にし、市民の皆様のご期待に応えるべく、

庄原市議会議長 桂藤 和夫

議員一同心を一つにして、懸命に努力をいたす覚悟であります。

さて、本市は昨年3月末に市制施行20周年を迎えましたが、この間、人口減少と少子高齢化が一段と進み、地域の活力維持が大きな課題となっております。また、食料品や燃料をはじめとする物価高騰などが市民生活を直撃していることから、将来に対する市民の皆様の不安は、一層深刻さを増しているものと拝察いたします。

本市議会といたしましても、この難局を乗り越え、まちに活気と人を取り戻し、安心・安全で暮らやすい庄原市となるよう、二元代表制の一翼を担う機関として、議会の役割と責任を自覚し、執行人と互いに連携を図り、さまざまな課題に取り組んでまいる所存であります。

結びに、市議会に対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして、本年一年が笑顔あふれる幸多き年となりますよう祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。





シリーズ

躍動する子どもたち！

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係☎ 0824-73-1184

庄原小学校



庄原小学校の本年度の学習発表会のテーマは「一心同体～心を燃やせ！Let's try！～」でした。劇やダンス、合唱や合奏、英語での発表など、学年ごとにステージ発表を行いました。

限られた練習時間のなか、発表内容や表現方法を工夫しながら練習に取り組みました。

発表会当日は、気持ちを一つに、今の自分たちにできる精一杯のパフォーマンスを披露し、観覧者の皆さんからたくさんの拍手をいただきました。

児童は「休憩時間や家でも練習したので、本番は堂々と発表できた」「学級で協力して団結力が高まった」など、自らの成長を振り返るとともに、充実感を口にしていました。

こうした経験を生かし、今後も「自ら伸びる・共に伸びる」児童の育成を目指していきます。



口和中学校



口和中学校では、全校で「口和の四季」に取り組み、その成果を文化祭で披露しています。「口和の四季」とは、口和町の各地域に伝わる伝統芸能の一部を季節で表現し、継承する取り組みで、3年生が「春」として向泉の田楽を、2年生が「夏」として湯木の盆踊りを、1年生が「秋」としてひょうたん音頭・口和音頭を、全校で備神太鼓を「冬」として披露します。

各伝統芸能の保存会の皆さんによる指導を受け、衣装も地域の皆さんに準備していただくなど、学校と地域を結ぶ取り組みとなっており、生徒からは「協力し合うことで大きな成果につながった」といった前向きな声が聞かれました。

今後も地域との連携、文化の継承を通じて、教育活動を推進していきます。



「文化・芸術編」

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係☎ 0824-73-1184

西城中学校



西城中学校プラスバンド部は、本年度16人で活動してきました。

本年度は「介護老人保健施設せせらぎ」の皆さんから招待を受け、「ふるさと」などの曲を演奏。演奏後に、皆さんからの「良かった」という喜びの声を聞いて、大きな自信と達成感を得ることができました。

そして、プラスバンド部3年生が参加する演奏は、11月の「総合的な学習の時間発表会」でのコンサートが最後となりました。演奏を聴いてくれる皆さんや、これまで支えてもらった家族への感謝の気持ちを込め、しっかりと演奏することができました。

来年度は、地域のお祭りへの参加なども計画し、これまで以上に地域の皆さんとの前で演奏する機会を作るとともに、これからも聴く人が笑顔になれるような演奏をしていきます。



高野中学校



高野中学校では、高野地域の伝統を引き継いでいく取り組みを行っています。

高野町の伝統芸能の一つに「太拍子」があります。太拍子

は牛供養田植の一つで、五穀豊穣、家内安全などを祈願するものです。

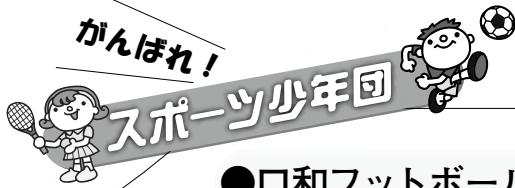
近年では、地域の伝統文化を残そうとする皆さんにより、高野町文化祭で披露されていました。

この文化を継承することを目的に、10月から地域の人を講師として招いて練習を行いました。

そして、11月1日の高野中学校文化祭で太拍子を披露。これまで熱心に練習してきた成果をしっかりと発揮することができ、地域や保護者の皆さんから温かい拍手をいただくことができました。

今後も地域の思いを受け継ぐ取り組みを続けていきます。





●口和フットボールクラブ (口和 FC)

本年で結成 10 年を迎える「口和 FC」。平成 28 年のスタート以来、地域の子どもたちがのびのびとサッカーに親しめる場として活動を続けてきました。現在は、口和小学校をはじめ、高野小学校の児童 26 人(男子 25 人、女子 1 人)が所属し、元気いっぱいにボールを追いかけています。

チームの合言葉は「サッカーを思いっきり楽しむ」。試合の勝ち負けだけにとらわれず、状況を見抜く力や判断力を育みながら、あいさつや礼儀、仲間とのつながり、そしてサッカーができる喜びを大切にしています。

練習は毎週火・木曜日、口和運動公園で実施しています。

コーチと保護者が力を合わせて子どもたちをサポートしており、初めてでも安心して参加できます。

見学や体験はいつでも歓迎していますので、「ちょっと気になるな」という人は、ぜひ気軽に遊びに来てください！

代表 積山 弘幸
連絡先 ☎ 090-4143-6756



まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。

市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。

庄原市赤十字奉仕団



活動 地域の“もしも”に寄り添う、行動するボランティア

内容 当団は、平成 17 年に災害支援ボランティア団体として発足しました。平成 18 年には、西城川の氾濫により地域の住民が体育館に避難された際、350 食の朝食の炊き出しをして支援しました。

また、合併した 7 地域持ち回りの災害想定訓練で、毎年 350 食以上の炊き出しや救護訓練を実施。さらに、献血推進呼びかけ活動、救急法や健康生活支援講習会など、多岐にわたって活動しています。

こうした長年の取り組みが評価され、当団は日本赤十字社から銀色有功章の表彰を受けました。

設立から 20 年が経過し、実働員が減少していることから、現在、新たな仲間を募集しています。AED の使い方や、お餅などの異物が喉に詰まった時の対応、止血法や三角巾の使い方といった応急手当を学ぶことができます。個人でもグループでも大歓迎です！

問い合わせ

事務局 庄原市社会福祉協議会内 ☎ 0824-72-7120
または 委員長 寺岡 隆行 ☎ 090-7540-9029

市民活動団体登録をしませんか？

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。
詳しくは、自治定住課自治定住係 (☎ 0824-73-1209) まで。

- 2 年頭あいさつ
- 3 躍動する子どもたち
- 4 市民のページ
- 5 安心安全な毎日のために
／ほのぼのネット通信
- 6 市職員の給与などを公表
- 8 税のかわら版
- 10 医療費通知を医療費控除に活用
／市制施行 20 周年記念式典
- 11 子どもたちと多世代の集いの場
の整備内容を一部見直し
／不当要求行為などへの対応
- 12 市政トピックス
- 14 放課後ジャーニー in 西城紫水高校
- 16 カメラレポート
- 18 健康広場
- 19 お知らせ
- 28 出張！市政トピックス

なごみま☆ ショット



難波
やまとくん
(三日市町)
R5年2月19日生まれ

父母より：元気いっぱいのやまとくん！これがもうすくすくと元気に育ってね。



瀬尾
憲史くん
(東城町)
R3年11月1日生まれ

父母より：たくさん食べて大きくなって、いろんな事を一緒に体験しようね！



安心
な毎日のために

庄原警察署からのお知らせ

庄原警察署 0824-72-0110

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。



「減らそう犯罪」
第6期ひろしまアクション・プランがスタート

広島県では、23年間にわたり「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を進めてきました。

この運動は、誰もが安全で安心して暮らせる、犯罪の起こらないまちづくりを目指すものです。

運動を進める上で、取り組みの方向性や施策の方針を示す行動指針として「アクション・プラン」を計画し、第1期から第5期まで、期ごとに目標を決めて取り組んできました。

平成14年には約6万件にまで達した刑法犯認知件数は、第5期開始時の令和3年には戦後最小の1万1181件と、ピーク時の5分の1以下まで減少するなど、大きな成果を上げています。

引き続き、市民の皆さんをはじめ、行政、事業者、関係団体などと協同し、庄原市の安心・安全なまちづくりに取り組みます。

見抜け、詐欺！
3つのポイントに注意！

警察官をかたつて「お金を払えば逮捕されない」などとSNSで連絡する事例が発生しています。

警察官がSNSで連絡することやお金を要求することは絶対にありません。

次のポイントに気を付けて詐欺を見抜きましょう！



- ①電話番号（知らない番号）
- ・+44などの国際電話番号
- ・03や06などの県外番号
- ・非通知番号
- ②人（相手の職業）
- ・警察官・弁護士
- ・総務省の職員
- ・通信事業者など
- ③言葉（相手の文言）
- ・あなたの口座（カード）が犯罪に使われている
- ・このままでは逮捕される
- ・お金を払えば逮捕されない

- 見抜け前の事前対策！
- ・国際電話の着信を拒否
- ・携帯電話でも相手を警戒
- ・いつでも留守番電話に設定

- 少しだけ怪しいと思うことがあれば、お気軽に警察署・交番にご相談ください。



▲申込書



▲ホームページ

親プロ講座

開催までの流れ

「親の力」を学び合う学習プログラム、通称「親プロ」講座は、参加者同士が子育ての場面での悩みや不安を話し合いながら、子どもや家族への対応や問題解決のヒントが得られるよう開発された学習プログラムです。

約44種類の学習プログラムで構成されていて、子育ての発達段階に応じた8つの年齢層に分かれてプログラムを選択することができます。

また、子育て中の親だけでなく、子育てを終了した中高年世代の人まで、幅広い世代を対象としています。

講座に参加した人からは「子育ての不安が軽くなつた」などの声があり、参加者同士が主体的に学び、自分に合った答えを見つけていくきっかけづくりを提供しています。

生涯学習課では、親プロ講座の実施を希望する団体へ、講座の進行を行う親プロファシリテーター（講師）を派遣しています。

ほのぼのネット 0824-73-1214



「親の力」を学び合う～親プロ講座～

通信

ほのぼの
ネット

生涯学習課
生涯学習係
0824-73-1188

問い合わせ
詳しく述べ、問い合わせ先へご連絡ください。

①申し込み
実施の3カ月前までに、申込書に必要事項を記入し、生涯学習課へ提出してください。

②打ち合わせ
事前に、ファシリテーターと内容や準備物などについて打ち合わせを行います。

③開催
会場準備や参加者受付などは、申込団体で行っています。

市職員の給与などを公表

総務課職員係 60824-73-1122

だ掲載詳ます。市に人事行事行政条例の運営などに基づき、庄原市に公表します。「地方公務員法」および「庄原市条例」に基づき、庄原市を運営する市職員の給与は、基本給と扶養手当、勤務手当などを考慮した上、市職員の給与のな



(7) 一般行政職の級別職員数 (令和7年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	18人	5.3%
2級	主事	46人	13.6%
3級	主任主事	89人	26.3%
4級	主任	59人	17.4%
5級	係長級	87人	25.6%
6級	課長級	34人	10.0%
7級	部長級	6人	1.8%
計		339人	100.0%

(注)

1. 給与条例に基づく給料表の級区分による職員数。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務。

2 特別職の報酬など (令和7年4月1日現在)

区分	報酬月額など	期末手当
給料・報酬	市長 副市長 教育長	86万円 70万円 62万円 (令和6年度支給割合) 4.6月分
	議長 副議長 議員	44万円 38万円 35万円 (加算の状況) 役職加算15%

3 職員の任免および職員数

(1) 職員の採用状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

試験区分	採用者数
行政職	17人
	1人
	3人
医療職	5人
歯科衛生士	1人
理学療法士	2人
計	29人

(2) 職員の退職の状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	市長事務部局など	西城市民病院	計
定年退職	6人	1人	7人
任期満了	1人	0人	1人
普通退職	27人	5人	32人
分減免職	1人	0人	1人
死亡退職	0人	1人	1人
合計	35人	7人	42人

(3) 部門別職員数 (令和7年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数
		令和6年度	令和7年度	
普通会計部門	議会	6人	6人	0人
	総務・企画	140人	133人	△7人
	税務	21人	17人	△4人
	労働	0人	0人	0人
	農林水産	42人	38人	△4人
	商工	17人	17人	0人
	土木	48人	48人	0人
	民生	96人	96人	0人
	衛生	31人	31人	0人
	計	401人	386人	△15人
	教育	30人	30人	0人
	警察	0人	0人	0人
	消防	0人	0人	0人
	小計	431人	416人	△15人
会計監査部企業等	病院	79人	75人	△4人
	水道	0人	0人	0人
	下水道	9人	8人	△1人
	その他	31人	31人	0人
	小計	119人	114人	△5人
	合計	550人 [847人]	530人 [797人]	△20人 [△50人]

(注) 1. 職員数は一般職に属する職員数。 2. []内は条例定数。

1 職員の給与の状況

(1) 令和6年度の人事費 (普通会計決算)

住民基本台帳人口 (令和7年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人事費 B	人事費率 (B/A)
3万1,198人	332億2,413 万円	4億4,051 万円	41億7,801 万円	12.6%

(注) 金額は万円未満を四捨五入。

(2) 令和6年度の職員給与費 (普通会計決算)

職員数A	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
430人	16億68万円	2億9,793万円	6億5,636万円	25億5,497万円	594万円

(注) 職員数は令和6年4月1日現在の数。職員手当には退職手当を含まない。金額は万円未満を四捨五入。

(3) ラスパイルス指数 (一般行政職)

区分	令和5年度 (4月1日時点)	令和6年度 (4月1日時点)
庄原市	96.5	97.0
全国市平均	98.6	98.6

- (注)
1. ラスパイルス指数は、国家公務員の給与水準を100として、庄原市職員の給与水準を比較した数字。
 2. 全国市平均は政令指定都市を除いた数値。
 3. 令和7年度の指数は現時点未公表。国の公表後、市ホームページへ掲載。

(4) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額 (一般行政職)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
庄原市	43.3歳	32万9,824円	35万9,067円
広島県	43.0歳	33万7,278円	37万8,982円
国	41.9歳	33万2,237円	41万4,480円

(5) 職員の初任給

(令和7年4月1日現在)

区分	一般行政職	
	大学卒	高校卒
庄原市	22万0,000円	19万4,500円
広島県	22万8,738円	19万7,583円
国	22万0,000円	18万8,000円

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額

(令和7年4月1日現在)

区分	一般行政職	
	大学卒	高校卒
経験年数10-15年	28万6,036円	27万7,400円
経験年数15-20年	31万1,960円	29万6,600円
経験年数20-25年	36万2,111円	30万9,650円

生涯
学習課仲間と共に走る、庄原の冬
第74回庄原市スター式駅伝大会

師走の庄原を駆け抜けるランナー



12月7日、第74回庄原市スター式駅伝大会を開催し、本年は市内外から34チーム、約250人が参加し、健脚を競いました。

大会は中学、高校、一般など7部門に分かれ、上野総合公園陸上競技場を基点に6区間、男子16キロメートル、女子15・6キロメートルのコースで行われました。

寒さが身に染みる中、ランナーは「たすき」をつなげるため、精いっぱい駆け抜けました。

手たちは力強い走りで応え、チーム一丸となつてゴールを目指しました。

競いました。

各校の生徒が練習の成果を発揮し、心を一つにして奏でる美しいハーモニーや、歌詞に込められた意味を表現して歌おうとする姿に、会場から大きな拍手が起きました。

生徒は「何度も練習してどのように歌つたら良いかみんなで話し合いながら本番を迎えた。歌う前はとても緊張したが、みんなと心を一つにして歌うことができ、今までで一番良い合唱になつたと思う。悔いなく精いっぱい歌えて良

かった」と話し、自分たちの当

が一堂に会する合唱コンクールを庄原市民会館で開催し、各学校が課題曲「ふるさと」と自由曲の2曲を披露しました。

各校の生徒が練習の成果を発揮し、心を一つにして奏でる美しいハーモニーや、歌詞に込められた意味を表現して歌おうとする姿に、会場から大きな拍手が起きました。

各校の生徒が練習の成果を発揮し、心を一つにして奏でる美しいハーモニーや、歌詞に込められた意味を表現して歌おうとする姿に、会場から大きな拍手が起きました。

児童
福祉課親子で楽しむにぎやかな一日
第22回こどもまつり

まめうつしゲームに挑戦!



しゃぼん玉を追いかける子どもたち

11月3日、国営備北丘陵公園北入口エリア里山の駅庄原ふらりで、第22回こどもまつりを開催し、約2500人が来場しました。

当日は市内の高校生による手作りかるた大会をはじめとして、パトカー・消防車・バスの乗車体験、乗馬体験など、子育てネットワークの推進を図るために参加した市内24団体が企画するさまざまなコーナーで楽しむたくさんの親子連れでにぎわいました。

また、市内の高校の吹奏楽部による演奏や健康チエックコーナーのほか、市制施行20周年記念事業として、いのうえゆき先生と、かくはまみほ先生によるリトミックコンサートも行われました。

親子で来場した人は「手作りおもちゃなど遊べるコーナーがたくさんあり、子どもたちも楽しそうにしていた。広い芝生の上で元気に体を動かして、良い一日になった」と話しました。

親子で来場した人は「手作りおもちゃなど遊べるコーナーがたくさんあり、子どもたちも楽しそうにしていた。広い芝生の上で元気に体を動かして、良い一日になった」と話しました。

親子で来場した人は「手作りおもちゃなど遊べるコーナーがたくさんあり、子どもたちも楽しそうにしていた。広い芝生の上で元気に体を動かして、良い一日になった」と話しました。

親子で来場した人は「手作りおもちゃなど遊べるコーナーがたくさんあり、子どもたちも楽しそうにしていた。広い芝生の上で元気に体を動かして、良い一日になった」と話しました。

親子で来場した人は「手作りおもちゃなど遊べるコーナーがたくさんあり、子どもたちも楽しそうにしていた。広い芝生の上で元気に体を動かして、良い一日になった」と話しました。

社会
福祉課障害への理解を深める
障害者理解促進・啓発講演会

真剣に講演を聞く参加者

12月4日、庄原自治振興センターで障害者理解促進・啓発講演会を開催しました。和田山企画代表の大橋広宣さんを講師に迎え、「個性を伸ばして生きる」～苦手は得意でカバー～と題して講演いただきました。大橋さんは、発達障害を持ち、いじめや無理解に苦しみながらも、両親や周囲の愛情と理解で個性を伸ばし、夢を叶えた自身の体験を通して、周囲の理解や支援、個性を伸ばして認めるなど、一緒に考えていく大切さなどについて話しました。

参加者からは「目の前で実体験を話される姿に引き込まれた。できないことばかりに目を向けるのではなく、得意なことでカバーすることの大切さを再認識した」などの感想がありました。

市は、今後も障害の有無に問わらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて取り組みを進めていきます。

教育
指導課心を一つに響かせて
令和7年度庄原市中学校合唱コンクール

最優秀賞を獲得した西城中学校



優秀賞を獲得した庄原中学校

中学生の合唱後には、地元コラスグループ「あんだんて」が美しい歌声を響かせ、コンクールに華を添えました。

閉会式では、生徒と来場者全員で課題曲を合唱し、コンクールの幕を閉じました。

なお、参加した3年生は、5年後の「二十歳を祝う会」で、5年後心を一つにして課題曲を合唱する予定です。

「アンパンマン」の生みの親であり、自ら戦争を経験した漫画家・やなせたかさんの人生や、講師の2人とのエピソードなどをお話しいただき、最後はフリーラナウンサーの豊島美雪さんを交えた3人の対談で締めくくり、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

来場者は「やなせさんとの出会いが、多くの人に平和や命について思いを巡らすきっかけになっていること、深い感銘を受けた」と話し、生きることや平和の尊さについて考える機会となりました。

11月22日、庄原市民会館で庄原市人権講演会を開催し、約200人が来場しました。

今回は、タレントの山田雅人・佐久間レイ『やなせたかし物語』～戦後80年に平和を考える」と題して開催しました。

「アンパンマン」の生みの親であり、自ら戦争を経験した漫画家・やなせたかさんの人生や、講師の2人とのエピソードなどをお話しいただき、最後はフリーラナウンサーの豊島美雪さんを交えた3人の対談で締めくくり、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

来場者は「やなせさんとの出会いが、多くの人に平和や命について思いを巡らすきっかけになっていること、深い感銘を受けた」と話し、生きることや平和の尊さについて考える機会となりました。

10月1日～11月19日の間、庄原市ふれあいセンターで、第16期シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会を開催しました。

八谷市長から、8日間の全日程を修了した5人の新指導士へ修了証書を授与し、その門出を温かく祝福しました。

新たに指導士となつた5人は、今後、指導士会の仲間と共に体操指導士として、地域の集まり場や体操教室などで、シルバーリハビリ体操の実践と普及啓発活動を推進していきます。

平成27年10月に養成講習会を開始してから、これまで合計174人の指導士が誕生しています。

新たに指導士となつた5人は、今後、指導士会の仲間と共に体操指導士として、地域の集まり場や体操教室などで、シルバーリハビリ体操の実践と普及啓発活動を推進していきます。

高齢者
福祉課シルバーリハビリ体操指導士が新たに誕生
シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会

新たに誕生した指導士と記念撮影

この記事では、市内にある高等学校などにフォーカスして、特徴的な取り組みや部活動などを紹介します！



1_インタビューに協力いただいた皆さん（左から射撃部 廣本杏琉奈さん、栗本らさん、奥津佑美佳さん 神楽部 清水藍斗さん） 2_厳かな空気に包まれた三次市鷲神社の境内で力強くも丁寧な舞を奉納 3_ほんばこ山保育園の園児たちが見守る中の演舞 4_互いに声を掛け合いながらフォームを確認し合い、細かな調整を重ねる部員たち



静まり返った射場に張りつめた空気が漂う中、的を見据える部員の視線は真剣そのもの。一発ごとに呼吸を整え、集中力を高めながら、基本動作を丁寧に確認します。



練習の成果を発揮すべく、いざ大会へ。張りつめた緊張感の中でも落ち着いた構えを崩さず、一発一発に集中する姿が印象的でした。



地域の高齢者が集う八鉢敬老会の会場で、日頃の感謝の気持ちを込めた演舞を披露。会場を温かな拍手と笑顔で包みました。

問い合わせ
本記事に関すること
内容などに関すること
行政管理課広報統計係(☎0824-73-1159 / メール koho@city.shobara.lg.jp)
広島県立西城紫水高校 教頭 平井(☎0824-82-2511)

VOL.3 放課後ジャーニー IN 西城紫水高校



合言葉は「一人一人が主人公！」
第3回目の「放課後ジャーニー」は、「広島県立西城紫水高校」へ！
創立100年を迎える西城紫水高校
全国的にも珍しい部活動や地域での活動にフォーカスします。

西城紫水高校の魅力

Point 01 少人数授業

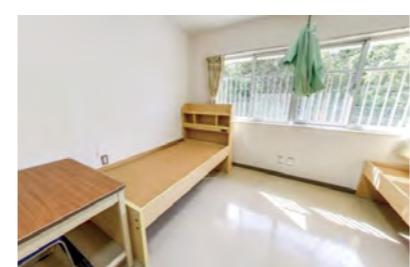
少人数制の特長を生かし、一人一人の理解度や個性に応じた、きめ細かな指導を行っています。質問や意見交換がしやすく、生徒と教員の距離が近いことも大きな魅力です。

Point 02 地域貢献

地域行事への参加やボランティア活動など、地域の皆さんと共に活動することを重視しており、学校はまさに「地域に育てていただく学びの場」となっています。

Point 03 荻野寮

学校から徒歩3分の好立地にある荻野寮。最大44人が入寮可能な寮では、現在、男子17人、女子5人が生活しています。部屋の中は、基本2人の相部屋で、お互いのプライバシーを守りつつ、共同生活を送っています。寮生は朝・昼・晩と1日3食、寮の食堂で温かい食事が提供されます。



⑤学校から約200メートルの距離にある荻野寮。ベッドと勉強机などがあります。



③西城小の児童と一緒に地域の高齢者にプレゼント。



①分からぬところは丁寧に説明！少人数を生かして、一人一人にきめ細かな授業を行っています。



⑥温かい食事をみんなで囲むひとときが毎日の楽しみです。



④地域の人を講師に招いて、そば打ちを体験！



②授業では実験をしたり、野菜を育てたりすることも。

西城紫水高校には、精密さを極める「射撃部」と、地域の伝統を受け継ぐ「神楽部」という2つの個性豊かな部活動があります。

対照的な世界で活動する生徒たちに、競技の魅力や成長の実感を聞きました。

西城紫水高校には、精密さを極める「射撃部」と、地域の伝統を受け継ぐ「神楽部」という2つの個性豊かな部活動があります。

射撃部の練習は、まるで自分が内側と向き合う時間のようですね。射撃部の練習では反復と集中が欠かせません。

現在の部員は3人。その全員が1年生で、試行錯誤を繰り返しながら、和気あいあいと部活動に取り組んでいます。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の中では技術と精神力を磨く経験が、部員一人一人の成長を支えています。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

射撃部の存在が入学の決め手になつたという部員も。「今までの自分を超えたときには、達成感がある」と話す表情には、積み重ねてきた努力への自信がじんいでいました。

問い合わせ

本記事に関すること
内容などに関すること
行政管理課広報統計係(☎0824-73-1159 / メール koho@city.shobara.lg.jp)
広島県立西城紫水高校 教頭 平井(☎0824-82-2511)



認知症を学ぶ

認知症サポーター養成講座・11/11

No.6

認知症サポーター養成講座が開催され、東城小4年生の児童22人が受講し、認知症が脳の病気であることや認知症の人への接し方について学びました。

当日は、実際に認知症と診断された渡邊さんが、認知症になっても何もできないわけではないことや、日課をカレンダーに書いて見えるところに掛けておくなど、生活の工夫について話しました。また、背後から声を掛けない、優しく話すなど、認知症の人に接するときのポイントを、児童と一緒に声に出して読み合いました。

参加した児童は「認知症のことを知ってよかったです」「認知症の人に会ったら今日習ったように接したい」と話しました。



▲講座を受講する子どもたち

おいしく食べて元気に

おやこの食育教室・11/27

No.8

高野保健福祉センターで、高野町食生活改善推進員協議会主催の「おやこの食育教室」が開催され、高野保育所年長児6人の親子が参加しました。

この事業は、町内の保育所年長児を対象に毎年行われているもので、子どもたちは、保育所での調理体験を生かして手際よく料理をしながら、「おいしくな～れ」と魔法を掛けっていました。

参加したお母さんは「日頃ゆっくり時間をとって一緒に料理をしないので、貴重な時間が過ごせた」と話しました。また、協議会会長の横井英子さんは「健康のためには、子どもの時から食にしっかり関心を持つことが大切。高野は昔から味が濃いめなので、塩分の取り過ぎには注意してほしい」と話しました。



▲集中して調理に取り組む参加者たち

鉄路がつなぐ絆と笑顔！

県境鉄道フェスタ・11/23

No.5

芸備線・木次線でつながる3市町（庄原市・新見市・奥出雲町）で構成する実行委員会が、ウィル西城で「県境鉄道フェスタ」を開催し、多くの来場がありました。

会場では、特産品や鉄道グッズの販売に加えて、3市町共通の自慢の逸品であるお米を使ったおにぎりの食べ比べコーナーが設けられました。

また、芸備線庄原市応援大使で演歌歌手の徳永ゆうきさんと、ローカル鉄旅ライターのやまもとのりこさんによるトークショーや、徳永さんのミニコンサートが行われ、会場を盛り上げました。

来場者は「3市町の絆も再確認され、利用促進への願いがこもった熱気あふれる一日だった」と話しました。



▲鉄道愛あふれる徳永ゆうきさんと、やまもとのりこさん

企業が合同で環境整備

企人協 美しい地域づくり活動・11/26

No.7

企業の人権啓発活動を目的に活動する団体「庄原市企業人権啓発推進連絡協議会」が、上野公園で美しい地域づくり活動（環境整備）を実施し、会員21人が参加しました。

同協議会は、市内事業所を中心に47社が加入し、人権啓発の推進や地域貢献活動に取り組んでいます。

今回は、地域貢献活動の一環として、上野池や瓢箪山古墳周辺の清掃活動を実施。小雨の降る中、参加者全員で熱心にごみ拾いが行われました。

同協議会の安部隆弘会長は「新型コロナウイルスの関係で長年、地域貢献活動を実施していなかったが、本年度より活動を再開することができた。今後も会員の皆さんと活動を行っていく」と話しました。



▲清掃活動後の記念撮影

「いいいろ」に塗装

いいいろ塗装の日・11/17

No.2

語呂合わせから「いいいろ塗装の日」とされている11月16日に合わせて、日本塗装工業会広島県支部北部地区の会員6人が、庄原市テニスコート内の壁面塗装を行いました。

この活動は、同地区に加入している市内の塗装業者が、市の公共施設などの塗装作業をボランティアで行っているものです。本年は、庄原市テニスコートの壁面を従前と同じ緑色のペンキで、一日かけて塗り直しが行われました。

地区担当の久保宗俊さんは「緑鮮やかなテニスコートになったので、利用者には気持ちよくプレーしてもらいたい」と話しました。



▲参加した職人による塗装作業

口和の自然を満喫

口和の里フットパス&芋煮会・11/15

No.1

口和町湯木釜峯自治会主催の「口和の里フットパス&芋煮会」が開催され、広島からのバスツアー17人、芸備線利用者の11人を含む総勢47人が参加しました。

当日は、午前と午後に分かれてフットパスを歩き、静かな神社や色鮮やかに染まった紅葉などの風景を楽しみながら、心身共にリフレッシュする時間を過ごしました。

その後、地元の旬の食材をふんだんに使った昼食が振る舞われ、ほっこりとした芋煮、柔らかくジューシーな比婆牛、香ばしいあゆの塩焼き、そして新米のこしひかりで作ったおむすびが参加者の舌を喜ばせていました。

参加者は「自然の中で食べると一段とおいしく、ぜひ来年も参加したい」と話しました。



▲自然の中でフットパスを楽しむ参加者

おいしく食べて元気に

おやこの食育教室・11/27

No.8

高野保健福祉センターで、高野町食生活改善推進員協議会主催の「おやこの食育教室」が開催され、高野保育所年長児6人の親子が参加しました。

この事業は、町内の保育所年長児を対象に毎年行われているもので、子どもたちは、保育所での調理体験を生かして手際よく料理をしながら、「おいしくな～れ」と魔法を掛けっていました。

参加したお母さんは「日頃ゆっくり時間をとって一緒に料理をしないので、貴重な時間が過ごせた」と話しました。また、協議会会長の横井英子さんは「健康のためには、子どもの時から食にしっかり関心を持つことが大切。高野は昔から味が濃いめなので、塩分の取り過ぎには注意してほしい」と話しました。



▲集中して調理に取り組む参加者たち

企業が合同で環境整備

企人協 美しい地域づくり活動・11/26

No.7

企業の人権啓発活動を目的に活動する団体「庄原市企業人権啓発推進連絡協議会」が、上野公園で美しい地域づくり活動（環境整備）を実施し、会員21人が参加しました。

同協議会は、市内事業所を中心に47社が加入し、人権啓発の推進や地域貢献活動に取り組んでいます。

今回は、地域貢献活動の一環として、上野池や瓢箪山古墳周辺の清掃活動を実施。小雨の降る中、参加者全員で熱心にごみ拾いが行われました。

同協議会の安部隆弘会長は「新型コロナウイルスの関係で長年、地域貢献活動を実施していなかったが、本年度より活動を再開することができた。今後も会員の皆さんと活動を行っていく」と話しました。



▲清掃活動後の記念撮影

地域の事をよく知って

ヒューマンフェスティバル 2025・12/6

No.4

里山総領体育館で、ヒューマンフェスティバル2025が開催され、町内外から150人が来場しました。

これは12月10日の世界人権デーおよび12月4日からの人権週間に合わせて毎年開催される催しです。

第1部は総領小児童の太鼓演奏で開幕し、総領にゆかりのある方々によるオカリナやジャズ、ボサノヴァなどの演奏が行われました。第2部では、総領中生徒によるMY探求・OUR探求の発表があり、1年生は「缶バッヂの作成について」、2年生は「職場体験について」、3年生はグループごとに「防災マップの作成について」「プロモーションビデオの撮影について」などを発表しました。

来場者は「地域の事でも、意外と知らない事が多かった」と話しました。



▲地域の紹介をする中学生

お腹も心も大満足！

中学生が企画した餅つき大会・11/22

No.3

西城自治振興センターで餅つき大会が開催され、西城中3年生のほか、地域の高齢者や家族連れなど約180人が参加しました。

この催しは、西城中3年生が1年生の時に、西城を元気づけたいという思いから計画してきた企画で、今回地域の支援を受けて実現したものでした。

当日は、地域住民の指導のもと、生徒たちの「よいしょ」の掛け声により、臼と杵を用いて餅をつきました。ついたての餅は焼かれ、きな粉やしょうゆで味付けして参加者に振る舞われました。

最後は、西城中の生徒たちが、庄原市中学校合唱コンクールで最優秀賞を受賞した時の課題曲「ふるさと」を合唱して締めくくり、みんな大満足の餅つきとなりました。



▲ついたての餅を振る舞う生徒たち

メタボリック シンドロームにご注意！

メタボリックシンドローム（通称メタボ）とは？

お腹の内臓に脂肪がたまり、腹囲（おへそ周り）が大きくなる「内臓肥満」に、「高血圧」「高血糖」「脂質異常」が複数重なっている状態を、メタボリックシンドロームといいます。

それぞれの危険因子がまだ病気でない軽い状態であっても、重なることで、命に関わる虚血性心疾患（主に心筋梗塞）や脳血管疾患（主に脳梗塞）を引き起こすリスクが高くなります。

庄原市立西城市民病院
保健師 山脇 明子



診断基準

腹囲が、男性85cm・女性90cm以上で、かつ血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れると、「メタボリックシンドローム」と診断されます。

●腹囲（おへそ周り）
男性85cm以上/女性90cm以上

+

●脂質異常
中性脂肪値 150mg/dl以上
かつ/または
HDLコレステロール値
40mg/dl未満

●高血糖
空腹時血糖値 110mg/dl以上
または
HbA1C 6.0%以上

●高血圧
収縮期血圧値 130mmHg以上
かつ/または
拡張期血圧値 85mmHg以上

▼
●2項目以上該当すると「メタボ」
●1項目該当すると「メタボ予備群」

メタボリックシンドロームを防ごう

メタボリックシンドロームは、自覚症状が少なく静かに進行し、放置しておくと、さまざまな生活習慣病を招きます。一方、初期であれば、生活習慣の改善で予防・解消することが可能です。

メタボリックシンドロームになりやすい40代以降の人を対象にした「特定健診」や、その結果に応じた「特定保健指導」などを実施しています。自身の生活習慣を振り返り、改善することで、健康な日々を取り戻せた人もいます。

以下のポイントを意識して、「脱・メタボリックシンドローム」を目指しましょう！

- 体重・腹囲・血圧の測定を習慣化
- 食事で摂取エネルギーを減らし、運動で消費エネルギーを増やす

そのためには…

- 「早食い・食べ過ぎ・欠食・野菜不足」などを解消しましょう。
- 日常生活で「座る」ことを減らして、継続可能な運動（筋トレやウォーキングなど）を実施しましょう。
- そのほか、「睡眠の充実・禁煙・節酒」が大切です。



保健医療課健康推進係 ☎ 0824-73-1255

●あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、
困りごとなど、
お気軽にご相談を



各種相談	とき		ところ	備考	問い合わせ
人権相談	庄原	2月17日(火)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
	西城	2月12日(木)13時30分～15時30分	西城支所		
	東城	2月5日(木)13時30分～15時30分	東城ふれあいセンター		
	高野	2月10日(火)13時～15時	高野支所		
	比和	2月3日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領	2月18日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原	2月19日(木)13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	西城	2月19日(木)13時30分～15時30分	西城自治振興センター		西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124
	口和	1月23日(金)9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
	高野	2月10日(火)13時～15時	高野支所		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和	2月3日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
	総領	2月18日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法律相談	庄原	1月23日(金)13時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島弁護士会による 無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	西城	2月6日(金)13時～16時	西城自治振興センター		広島弁護士会 ☎0120-969-214
生活安全相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
			東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
消費生活相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
北部地域 県民相談室	①	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時15分～12時、13時～16時	広島県三次府舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1	相談員 (電話・来所)	北部地域県民相談室 ☎0824-62-5522
	②	2月12日(木)13時～14時30分 (30分×3枠)		弁護士 ※①の相談後、予約可	
家庭児童相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時		児童福祉課あんしん支援 係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
妊娠・出産 子育ての相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 8時30分～17時15分		ほのぼのネット (市役所本庁舎2階)	助産師・保健師 保育士・社会福祉士	ほのぼのネット ☎0824-73-1214
認知症カフェ	庄原	「これから」 2月10日(火)13時～15時	庄原ショッピングセン タージョイフル2階	相談・情報交換 参加費なし	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城	「コスモスカフェ」 2月5日(木)13時30分～15時	西城保健福祉センター (しあわせ館)	相談・情報交換 参加費100円	西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202
	東城	「おれんじカフェ・ええ塩梅」 1月27日(火)13時30分～14時30分	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	比和	「あしたのカフェ」 2月17日(火)13時30分～15時	比和自治振興センター	相談・情報交換 参加費100円	比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員 定期相談会	庄原	2月16日(月)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	知的障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
	口和	2月3日(火)9時30分～11時30分	口和自治振興センター	身体・知的障害者相 談員	口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
		2月4日(水)9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		
身体障害者 補装具判定会	聴覚	2月17日(火)13時～13時45分	広島県三次府舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	2月17日(火)13時～14時30分		広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料 相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185



国宮備北
丘陵公園
だより

冬咲きぼたん展

1月24日(土)~2月23日(月・祝)

期間中休園日：毎週月曜日
※2月23日(月・祝)は開園
【開園時間】9時30分~16時30分
(入園は15時30分まで)

備北公園管理センター 0824-72-7000
(https://www.bihokupark.jp/)



【節分料理のおもてなし】
ひばの里 年中行事「節分」
豆「いわし料理」「こんにゃく料理」は土・日曜日のみ



※記載されている情報は12月現在のものです。記載内容は天候などの理由により予告なく変更または中止となる場合がありますので、お出掛けの際には事前にホームページでご確認ください。

相続空き家問題成年後見等でお困りの方
あなたの世代で解決しませんか？

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等
- 詳しくはホームページに記載しています。

司法書士 飯田 一生

司法書士法人
広島北部司法事務所

住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。

カカカ 長岡商事株式会社

災害時に一番早く復旧するプロパンガス。
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』
ガス供給と共に、より良い生活環境の場をご提案致します。

0120-184-268

広島県庄原市是松町 5020 番地 40 TEL0824-72-0561

第9位	山岡 瑠生 (関西福祉大学)	1年・宮内町	11月9日 / 広島市中区	秋季水泳大会	秋広島県マスターズ	県大会
10月31日 / 石川県加賀市	常陸宮妃杯第4回全日本学生ゴルフ選手権競技	団体戦	11月9日 / 広島市中区	秋季水泳大会	秋広島県マスターズ	県大会
庄原市長賞	庄原市文芸大会	庄原市長賞	庄原市文芸大会	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞
庄原市文芸大会	庄原市長賞	庄原市長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞
庄原市文芸大会	庄原市長賞	庄原市長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞	庄原市議会議員会議長賞

あつばれ！
全国レベルの大会出
場者、全国・県レベル
の大会、市が共催
する各種大会などの
上位入賞者を掲載し
ます。(敬称略)

令和7年度
庄原市文芸大会
その他

第44回全国中学生人権大会作
文コンテスト三次地区

庄原市人権標語入賞者
庄原市人権標語入賞者

優秀賞
佐織 桧沙 (西城中3年)
佐織 桧沙 (西城中3年)

▼優秀賞
五島 小雪 (口和中2年)
五島 小雪 (口和中2年)

スエムネグループ創業64周年の安心と信頼
捨てる前にまず、お電話を！
広報誌見ました！ お気軽にお問い合わせください！
0120-66-1035
高額買取・何でも不用品回収 美幸・ピコウ 広島県三次市塩町2123-5

庄原市議会議員会議長賞						
庄原市議会議員会議長賞						
庄原市議会議員会議長賞						
庄原市議会議員会議長賞						
庄原市議会議員会議長賞						

優秀賞 佐織 桧沙 (西城中3年)						
優秀賞 佐織 桧沙 (西城中3年)						
優秀賞 佐織 桧沙 (西城中3年)						
優秀賞 佐織 桧沙 (西城中3年)						
優秀賞 佐織 桧沙 (西城中3年)						

五島 小雪 (口和中2年)						
五島 小雪 (口和中2年)						
五島 小雪 (口和中2年)						
五島 小雪 (口和中2年)						
五島 小雪 (口和中2年)						

広告 出張買取	家に使ってない物が沢山ある...	スエムネグループ創業64周年の安心と信頼
その不用品・処分	出張買取ですべて解決しませんか？	捨てる前にまず、お電話を！
出張買取	出張買取ですべて解決しませんか？	広報誌見ました！ お気軽にお問い合わせください！
出張買取	使わなくなったアクセサリー	0120-66-1035
出張買取	おもちゃでも買取ります！	高額買取・何でも不用品回収 美幸・ピコウ 広島県三次市塩町2123-5
出張買取	額面の60%で買取します！	
出張買取	買取例 15,000円	
出張買取	切手(シート・バラ)	
出張買取	額面の60%で買取します！	
出張買取	買取例 10,000円	



人の動き（庄原市の人口）
令和7年11月末現在

【住民基本台帳登載人口】

人口 30,447人（前年比-803人）
男 14,599人（前年比-377人）
女 15,848人（前年比-426人）

世帯数 14,600世帯（前年比-228世帯）

【うち外国人】人口 605人（前年比35人）

【各地域の内訳】

○庄原地域 16,273人（7,781世帯）
○西城地域 2,749人（1,270世帯）
○東城地域 6,319人（3,176世帯）
○口和地域 1,628人（734世帯）
○高野地域 1,398人（614世帯）
○比和地域 1,041人（508世帯）
○総領地域 1,039人（517世帯）



休日診療のご案内

1月・2月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原市休日診療センター

診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）

問診療日 **0824-72-9900**

診療日以外 **0824-73-1155**（保健医療課）

●東城地域

1月25日（日）	庄原市休日診療センター	0824-72-9900
2月1日（日）	瀬尾病院	08477-2-0023
8日（日）	庄原市休日診療センター	0824-72-9900
11日（水）	庄原市休日診療センター	0824-72-9900
15日（日）	東城病院	08477-2-2150



献血のご案内

問保健医療課 **0824-73-1155**

献血を次のとおり実施します。

400ml 献血限定ですので、皆さんのが協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
2月5日（木）	庄原赤十字病院	11時30分～15時30分



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。

★毎月20日が出店申込締め切りです。

★申し込みは楽笑座内九日市事務局

0824-72-8285まで

とき 2月9日（月）9時～13時

ところ 中本町・まちなか広場周辺（のぼりが目印）

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

2月



【農業委員会長賞】
横山 七花（東城小6年）



【農業委員会女性委員特別賞】
猫田 和花（永末小2年）

広報日記

▶新年あけましておめでとうございます。本年も広報しょうばらをよろしくお願いします。午年にちなみ、軽やかな足取りで庄原の話題をお届けします！（西）

食育コーナー

問保健医療課 **0824-73-1255**

庄原市食育ポスターコンクールを開催しました

市は毎年、市内の小学生を対象に食育ポスターコンクールを開催しています。本年も「野菜を食べよう」「バランスよく食べよう」「感謝して食べよう」など、食に対する思いを込めた多くのポスターの応募がありました。

ポスターを描くことで家庭・地域・学校で食を身近に感じ、自分の身の回りの「食」について考えるきっかけになればと思います。

今回は食育ポスターコンクールで受賞した作品を紹介します。

受賞作品（敬称略）



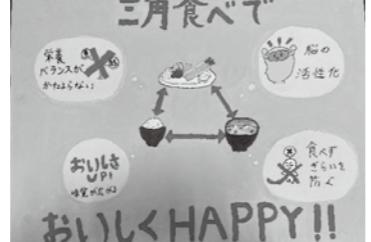
【市長賞】
徳永 夏芽（高小1年）



【教育長賞】
松井 菜南（永末小6年）



【議長賞】
森田 妃織（庄原小5年）



【農業委員会女性委員特別賞】
横山 七花（東城小6年）

比和自然科学博物館

0824-85-3005

開館：9時～17時（年末年始休館）

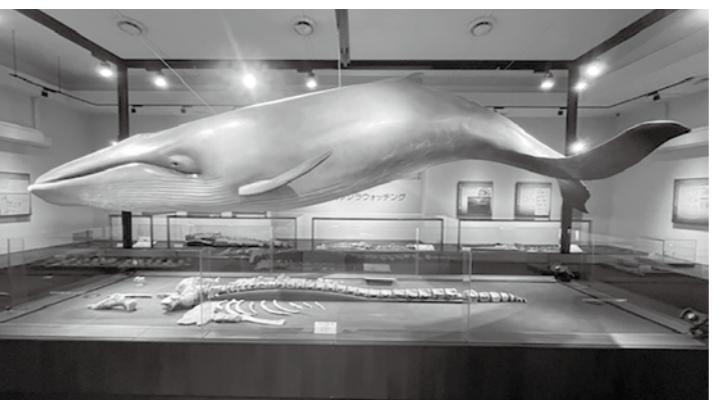
備北層群産出のクジラ化石

令和7年11月、新聞やテレビで「庄原市でのクジラ化石発掘」のニュースが紹介されました。市民研究団体の「庄原化石集談会」による、西城川の河床で見つかった3体のクジラ化石発掘調査のニュースです。11月8日に子クジラとみられる1体（推定全長約6～7m）、残りの2体も11月29日に発掘調査が行われました。今後、クリーニング作業を進めながら、調査研究が行なわれ、それぞれの種の同定（生物の分類上の所属や種名を明らかにすること）が進んでいく予定です。

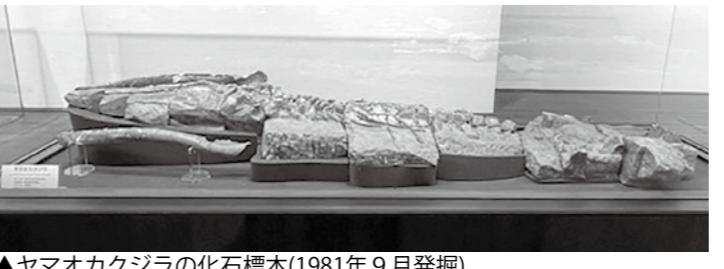
本市には、約1600～1500万年前の地層の「備北層群」があり、これまでにも「ペロケタス属の一種」「ショウバラクジラ」「ヤマオカクジラ」「ヒロセヒバクジラ」の4種のヒゲクジラの化石20体が発掘されています。本市の狭い範囲からまとまって産出されている理由は十分に解明されていませんが、その頃、南からの暖流が流れ込み、クジラ類の回遊ルートにあたっていたか、繁殖地の一つであったためではないかと考えられています。

当館では、この「備北層群」での化石発掘を体験できる公開講座「化石発掘体験講座」を開催しています。本年度多くの皆さんにご参加いただき、サメの歯やフナクイムシ、植物の葉、マツカサの化石など、28種161点を発掘しました。参加者は、発掘した化石を通して、昔、海だった庄原の環境を学習することができました。

当館地学分館には、これまでに見つかったクジラ化石4種やサメの歯の化石など、備北層群から産出された実物の化石資料を展示していますので、ぜひ、ご覧にお越しください。



▲ペロケタス属の一種の化石標本（2003年3月発掘）と復元模型



▲ヤマオカクジラの化石標本（1981年9月発掘）

市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

▶おばばの手仕事二人展

とき 2月8日（日）～10日（火）10時～15時

問アート多愛夢事務局 **0824-72-6405**（友永）

※展示を希望する団体（または個人）はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら
ゆめさくら

0824-75-4411

1・2月のイベント情報

▶ゆめさくら講座

○草木染め教室（アセビ）

とき 1月26日（月）①9時～12時 ②13時～16時

▶展示・イベント・販売

○牛乳ポスター入選作品展

とき 2月9日（月）～23日（月）

ロビーコンサート

問生涯学習課 **0824-73-1189**

とき 1月26日（月）12時15分～12時55分

ところ 市役所本庁舎 1階市民ホール

▶出演者

姜 晓艶

二胡奏者・医学博士。原爆被害者、精神障害者への支援活動「Life & Peace.Jiang」主宰。

5歳から二胡を学び、広島大学医学部客員研究員として平成9年来日。

「いのちの尊さ・平和への願い」、「慈しみの心・世界へ響け」をテーマに、日本各地やアメリカで数百回を超える講演会やコンサート、テレビ出演、舞台監督、総合プロデューサー、ステージファッショングループとして幅広いジャンルで活躍中。

また、医学博士として現代ストレス社会への悩みや自殺対策など心のケアを中心に、講演や音楽療法を積極的に行う。近年は、東洋古典楽器の雅楽（日本古来の儀式音楽や舞踊など）や二胡と西洋楽器とコラボし、伝統音楽と現代音楽を融合させ、新境地を開いている。



※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

危機
管理課

地域防災力向上を目指して

林野火災想定訓練 / 庄原市総合防災訓練



林野火災想定訓練（西城）

11月16日に西城町で林野火災想定訓練、11月30日に総領町で庄原市総合防災訓練を開催し、市、備北地区消防組合、庄原市消防団などの関係機関および地域住民など、総勢約320人が参加しました。

今回の訓練は、全国各地で大規模火災が発生していることを踏まえ、市内で大規模林野火災が発生したことを想定し、林野火災防ぎよ訓練、住民避難訓練、現場指揮本部・災害対策本部設置訓練、ヘリコプター空中消火訓練などを行いました。

特に、山中での消火訓練では、消防団員と消防署員が連携し、ホース延長や放水、負傷者救出などを行い、各機関の役割分担や指揮命令系統の重要性が再認識されました。

避難訓練に参加した住民は「林野火災は身近な危険だと改めて感じた。今回の訓練をきっかけに、日頃から防災意識を高めたい」と話しました。



総合防災訓練（総領）

今回の訓練での経験や課題を糧として、関係機関の連携をより一層深めるとともに、消防団や住民自治組織との地域防災力の向上を図り、安心・安全なまぢづくりを推進していきます。

地域福祉を支える新体制がスタート

民生委員児童委員委嘱状伝達式並びに退任式



八谷市長から委嘱状を伝達

12月1日、民生委員・児童委員の一斉改選に伴う「民生委員児童委員委嘱状伝達式並びに退任式」を各地域で開催しました。

民生委員・児童委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤特別職の地方公務員（無報酬のボランティア）で、児童福祉法に定める児童委員も兼ねています。

任期は3年（再任可能）で、3年ごとに一斉改選が行われます。

今回の一斉改選では、新任が49人、再任が101人、合計150人が就任しました。

民生委員・児童委員は、地域の実情把握に加え、市民の身近な相談役として、また、必要な支援へのつなぎ役として、保健・福祉・医療・介護など市民生活全般に関わる幅広い分野で、地域福祉の増進を担います。

お住まいの地域の民生委員・児童委員名簿は、行政文書で各戸配布しているほか、市ホームページでも確認することができます。




なんでも
美術品・絵画 お宝鑑定会

2月

6日 金 吳信用金庫ホール
10時～16時

7日 土 福山商工会議所
広島県立

8日 日 広島産業会館 西展示館

無料
鑑定会


広島県内
ご自宅・会社へ
訪問査定・鑑定・買取
致します



本郷美術骨董館



0120-518-100